

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

紫波町まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

岩手県紫波郡紫波町

### 3 地域再生計画の区域

岩手県紫波郡紫波町の全域

### 4 地域再生計画の目標

#### 【地域の現状と課題】

#### (1) 人口減少問題の克服

紫波町の人口は減少している。一定程度の社会増があることで、現時点では減少のスピードはゆるやかなものになっているが、死亡数は増加傾向に、出生数は減少傾向にあるため、これからも人口減少は避けられないと考えられる。

紫波町は昭和 50 年代（1970 年代半ば）の古館駅周辺の民間開発を契機に人口の増加がつづき、平成 17（2005）年国勢調査時点では 33,288 人になったが、以降、人口は緩やかに減少している。合計特殊出生率が向上し、社会増減が均衡したとしても令和 42（2060）年には 27,000 人程度まで減少すると考えられる。

わたしたちは、人口減少社会が到来したことを認識しつつ、人口減少社会にあっても、町が持っている強み、資源を最大限に活かし、誰もが安心して住み続けることができる、持続可能なまちをつくらなければならない。

#### (2) 稼ぐ力の確保

地域経済は、大都市圏に比べ、消費の回復に遅れがみられるほか、人口減少に伴い人手不足も顕在化している。このような状況下、公民連携、地域間連携、政策間連携によりローカル経済で稼ぐ仕組みを整え、町の経済発展の確保に努め、人口減少時代に合った活力ある紫波町をつくる必要がある。

## 【基本目標】

これらの課題に対応するため、国の総合戦略が定める4つの政策分野（①稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする、②地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる、③結婚・出産・子育ての希望をかなえる、④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる）を勘案し、それぞれの分野ごとに次の4つの基本目標を設定し、達成に向け取り組んでいく。

- ・基本目標1 ローカル経済でしごとが生まれる
- ・基本目標2 女性・若者に選ばれて新しいひとの流れが生まれる
- ・基本目標3 子育て支援・教育の充実で若い世代の安心が生まれる
- ・基本目標4 民の活力が湧き上がり時代に合った地域が生まれる

## 【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	起業数(累計)	0件	100件	基本目標1
イ	社会増減	9人/年	±0/年	基本目標2
ウ	年少(0~14歳)人口	4,141人	4,000人	基本目標3
エ	新たな地域づくり拠点数	2箇所	3箇所	基本目標4

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2とおおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例(内閣府)：【A2007】

#### ① 事業の名称

紫波町まち・ひと・しごと創生推進計画

- ア ローカル経済でしごとが生まれる事業
- イ 女性・若者に選ばれて新しいひとの流れが生まれる事業
- ウ 子育て支援・教育の充実で若い世代の安心が生まれる事業
- エ 民の活力が湧き上がり時代に合った地域が生まれる事業

## ② 事業の内容

### ア ローカル経済でしごとが生まれる事業

- ・起業に挑戦する人と挑戦する人を応援する人を支援し、「稼ぐ」持続可能な産業を育てる。
- ・町の地理的特徴や地域資源を生かした産業の定着を進める。

#### 【具体的な事業】

- ・6次産業化支援
- ・新規就農者研修 等

### イ 女性・若者に選ばれて新しいひとの流れが生まれる

- ・主に女性・若者にとって住みよい、働きやすい環境をつくる。
- ・若い世代を中心とした田園回帰ニーズに応え、町の魅力を発信し、移住・定住を促進する。

#### 【具体的な事業】

- ・空家等の有効活用誘導
- ・大学との連携による地域活性化 等

### ウ 子育て支援・教育の充実で若い世代の安心が生まれる

- ・出産、乳幼児期の保育から就学期まで切れ目のない支援を行う。
- ・子どもたちが、予測困難な社会をたくましく生きていく力を育めるよう、子育て・教育を支援する。

#### 【具体的な事業】

- ・学童保育の環境整備（こどもの家・児童クラブ）
- ・子育てボランティアの活動支援 等

### エ 民の活力が湧き上がり時代に合った地域が生まれる

- ・地域の小さな取り組みにも光をあて、ヒト・モノ・カネが循環する弾力性のある地域づくりを支援する。
- ・公民連携によるまちづくりを推進する。行政と民間が連携し、お互いの

役割を分担しながら官民で公益を担う。

**【具体的な事業】**

- ・地域おこし協力隊
- ・地区コミュニティ支援 等

※なお、詳細は第2期紫波町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

**③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））**

4の数値目標に同じ。

**④ 寄附の金額の目安**

600,000千円（2020年度～2024年度累計）

**⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）**

**【評価の手法】**

事業効果の検証については、庁内で効果検証を行った後、外部有識者等で構成する紫波町まち・ひと・しごと創生推進協議会において、意見聴取・集約等を含む検証を行い、KPIの実績値と合わせて公表する。

**【評価の時期及び内容】**

年度終了後の4月に庁内で効果検証を行い、5月に外部有識者等で構成する紫波町まち・ひと・しごと創生推進協議会を開催し、効果の検証を行う。

**【公表の方法】**

目標の達成状況については、検証後速やかに紫波町公式WEBサイト上で公表する。

**⑥ 事業実施期間**

2020年4月1日から2025年3月31日まで

**5-3 その他の事業**

該当なし

**6 計画期間**

2020年4月1日から2025年3月31日まで